

---

# 大人のための異文童話集 9    ピーターと狼

天野久遠

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大人のための異文童話集9 ピーターと狼

### 【Nコード】

N0662M

### 【作者名】

天野久遠

### 【あらすじ】

とうとう少年は言いました。「ボクはとても寂しいよ。ボクはこうしていつも泣いてるんだよ」と。  
でも一度心の声を話せば、それ声にしていたコトバは狼に喰い尽くされてしまい、やがては…。

いつでも、だれにでも、ボクはこう言うんだ。

「ボクは…寂しくなんかないよ。」

「ボクは…泣いてなんかないよ。」

そうして夜が来ると、なぜだか目からは熱い汗がこぼれ落ちて来る。そんなときは胸の奥のどこかが壊れてしまつて、なぜだか凍えるほどに寒くなっている。

それでもボクは言う。

「ボクは…寂しくなんかないよ。」

「ボクは…泣いてなんかないよ。」

そして深い闇がやって来ると、ボクは奥歯をしっかりと噛み締めるんだ。

くぐもる声が外へと洩れないようにと、両の手をしっかりと握りしめながら。

ボクの顔を見たときだけは、みんながとても心配してくれるから“寂しくなんかないよ、泣いてなんかないよ”と。

そんなボクのコトバを聞けば、みんなが安心してきつと眠れると思うんだ。

だからボクは、いつでもふざけたように笑いながらそう言うんだ。

「ボクは…寂しくなんかいいよ。」

「ボクは…泣いてなんかいいよ。」

来る日も来る日も、ボクにできることなんて…それだけだから。

いつも胸の奥が寒くなるのは、寂しいからではないし、目からこぼれ落ちるのは汗なんだから、決して泣いてなんていない。だから誰もボクを心配することはないんだ。

そんなことを繰り返していた夜、ボクは外を走る影を見た。

いつだったか、ボクも聞いたことがある、それは宵闇を翔る狼の姿なのだ。

その狼は、寂しがりで泣き虫を連れて行くんだって言っていた。

だけどボクは平気さ。

寂しくなんてないし、泣いてなんかいいのだから…。

ボクはいつものように、笑顔で応える。

「ボクは…寂しくなんかいいよ」

「ボクは…泣いてなんかいいよ」

そうしてまた、ひとりになると…ボクは膝小僧を抱えて横になる。するとコトバには出来ないほどの痛みが、ボクのカラダの中を恐ろしいほどの速さで駆け巡る。

「みんなどこへ行ってしまったの？」

「ボク、どうしてもいつもひとりぼっちなの?」

心の中のボクがそう叫んだ時、アイツがやってきてニヤリと笑った。そしてひとこと…こういったんだ。

「さあ、我慢しないで言ってごらん。」

ボクにはその声がとても優しく聞こえて、とうとう言ってしまったんだ。

「ボクはとても寂しいよ。ボクはこうしていつも泣いるんだよ」って。

するとアイツは、天にも届くような笑い声をあげたんだ。ボクにはもう我慢の扉は閉められない。

ボクはとても恐ろしくて「とても寂しいよ。とても悲しいよ。」

何度もそう叫んでみたけれど、その声は消え去るようにソイツに喰い尽くされてしまう。

そしてもう…ボクの声は誰にも聞こえることはなかったんだ。

（後書き）

BGMには敢えてKREVAではなく、SONOMIの“ひとりじやないのよ”でも聴いて欲しいですね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0662m/>

---

大人のための異文童話集9 ピーターと狼

2010年10月9日04時49分発行